

令和 2 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成 1 9 年 4 月 1 日設置

フィーダー系統 令和元年 6 月 2 6 日 確保維持計画策定

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
バス再編後の利用状況等の分析を行うとともに、乗りこぼし対策を講じるなど、更なる利便性向上に努めることを期待します。	再編前における収支率は12.9%であり、再編2年目は10.8%（▲2.1%）となった。 乗りこぼし対策として、タクシー車両を利用した対応スキームを確立しました。	利用状況については、継続して情報を取得し、分析を行います。
GTFS化を推進し、観光施策と連携を図ることを期待します。	GTFS化については、「国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課・地域交通課、観光庁」主体のバスデータのオープンデータ化事業に参加し推進しています。	GTFS化したデータについては、利用者にとって生きた情報となるよう、継続的にメンテナンスを実施していきます。

【本市の目指す姿・方向性】

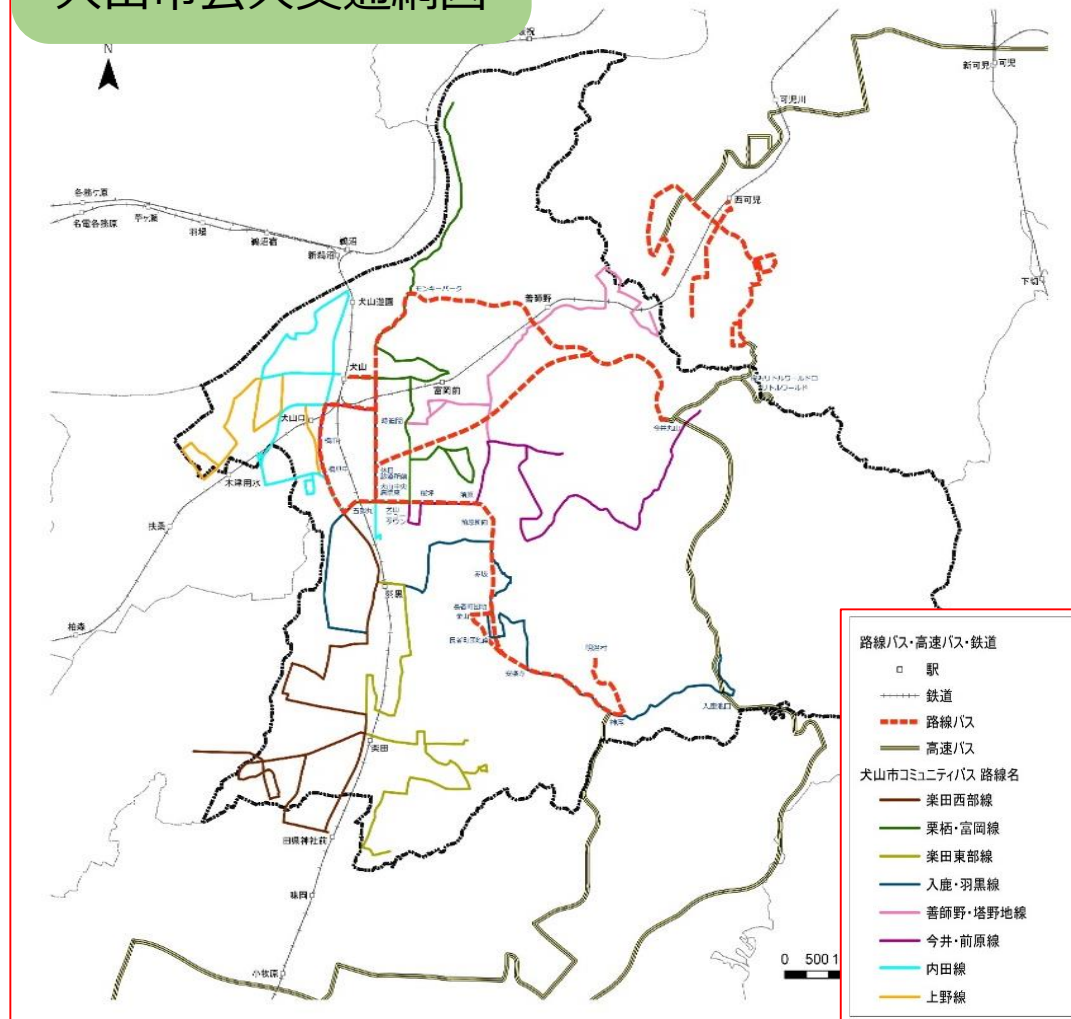
第5次犬山市総合計画に基づき、効率的、効果的なコミュニティバスの運行により交通空白地の解消と安心して利用できる移動手段の確保を目指している。

また、都市計画マスタープランに基づき、「いつまでも暮らし続けたい都市」を目指すべく、バス交通の利便性を向上させ、多様な都市機能が充実した犬山駅、羽黒駅、楽田駅等の主要鉄道駅周辺と民間の路線バスやコミュニティバス等の公共交通を接続し、ネットワーク化を目指している。

【市内公共交通の役割分担】

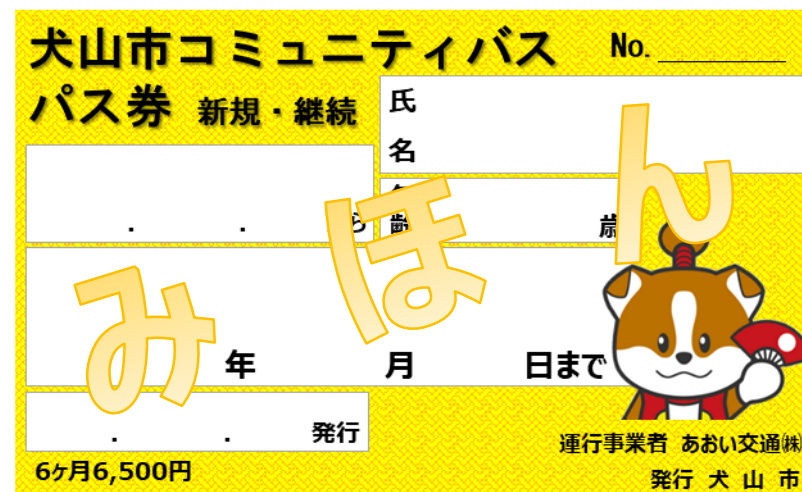
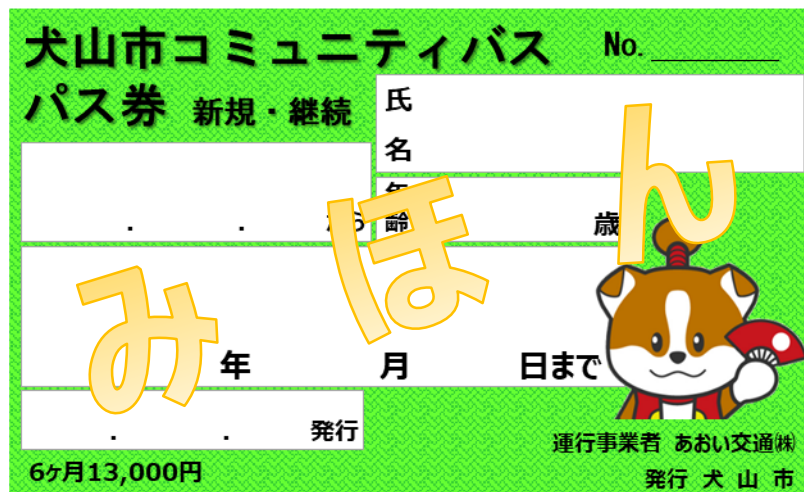
- 鉄 道：市域を跨ぐ広域輸送
- 民間バス：主に観光路線を軸とした輸送
- タクシー：民間バス及びコミバスでカバーできない領域（地域・時間）の輸送
- コミバス：鉄道への接続を軸とした輸送

犬山市公共交通網図



【取組み①】 パス券の販売

利用者の更なる利便性向上及び新規利用者開拓を目的とし、6ヶ月有効の定期乗車券である「コミュニティバスパス券」を販売した。



【料金】	85歳以上の高齢者及び小学生	6,500円
	一般（上記以外の人）	13,000円

【有効期間】 6ヶ月

【販売実績】 12月末日時点

6,500円 × 12名 = 78,000円
(85歳以上高齢者：10名、小学生：2名)

13,000円 × 8名 = 104,000円

※参考：一般の人が週3日利用した場合、回数券では約14,200円となり、パス券利用の方が1,200円お得となる。

【その他取組み】

- ・モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生を対象に、コミュニティバスを無料で乗車できる乗車券を発行し、コミュニティバスへの親しみを深めてもらう事業を実施した。
- ・モビリティマネジメントの一環として、犬山市立城東中学校3年生（全5クラス）を対象に、公民の授業においてコミュニティバス（公共交通）に関する内容の講義を実施した。

- ☆令和元年11月18日：1組、5組
- ☆令和元年11月20日：2組、3組
- ☆令和元年11月28日：4組



- ・満員によりコミュニティバスに乗車できない事象（積み残し）の対策として、タクシー車両を活用し、当初の目的のバス停まで運行するスキームを確立した。
- ・安心してコミュニティバスに乗車してもらうため、運行開始前・回送時・運行終了後の車内消毒及び換気を実施。また、それらを車内に掲示し、利用者へのPRを行った。

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和元年度実績30,993人となり目標を達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計110,000人以上（R1.10.1～R2.9.30）

補助対象路線名	目 標（人）	結 果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
栗栖・富岡線	14,000	12,890	×（達成率：92%）	14,881
上野線	14,000	14,321	○（達成率：102%）	14,699
今井・前原線	22,000	19,944	×（達成率：91%）	23,044
楽田東部線	5,500	5,759	○（達成率：105%）	6,617
善師野・塔野地線	18,000	15,184	×（達成率：84%）	18,261
内田線	8,500	9,313	○（達成率：110%）	10,041
計	82,000	77,411	×（達成率：94%）	87,543

補助対象外路線名	目 標（人）	結 果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
楽田西部線	9,000	7,649	×（達成率：85%）	9,039
入鹿・羽黒線	19,000	17,487	×（達成率：92%）	18,602
総計	110,000	102,547	×（達成率：93%）	115,184

結果：年間利用者数総計102,547人（達成率：93%）であり、目標は未達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計110,000人以上（R1.10.1～R2.9.30）

結果：年間利用者数総計102,547人（達成率：93%）であり、目標は未達成

【考 察】 新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言（移動自粛）の発令等により、利用者が減少し、目標は未達成となった。

しかしながら、減少率は前年度と比較し、▲11%にとどまっており、コロナ禍においてもコミュニティバスは移動が必要な人の足として機能したと考える。

【課題①】

コロナ禍においても、利用者が安心して公共交通を利用していただくための更なる施策を講ずる必要がある

【対応】

- ・市独自の地域クーポン券発行によるタクシー利用の促進
- ・乗車エチケットなど更なるPR

【対応】

- ・コミュニティバスにおける車内乗車混雑状況のリアルタイム配信(分散乗車の推進)

【課題②】

利用者が行きたい施設（公共施設、医療機関、商業施設等）が、どのバス停で降車すれば良いか分からないとの声がある

【対応】

利用者が行きたい施設（公共施設、医療機関、商業施設等）毎にどのバス停で降車すれば良いか分かる情報が載ったチラシ等を作成し、利用者の利便性向上に寄与
(鉄道やタクシーなどへの乗り換え情報含む)

【課題③】

利用者アンケート結果より、犬山市コミュニティバスの実利用者数は1,500人程度（人口の約2%）であり、リピーターが多い

【対応】

転入者へのPR、老人クラブ等との連携を図り、新規利用者の開拓を促進